

統計調査が描く、私たちの未来

あなたのデータが、
社会を支える力になります。



年金・医療・福祉政策、最低賃金の決定、
景気判断などに活用されています。



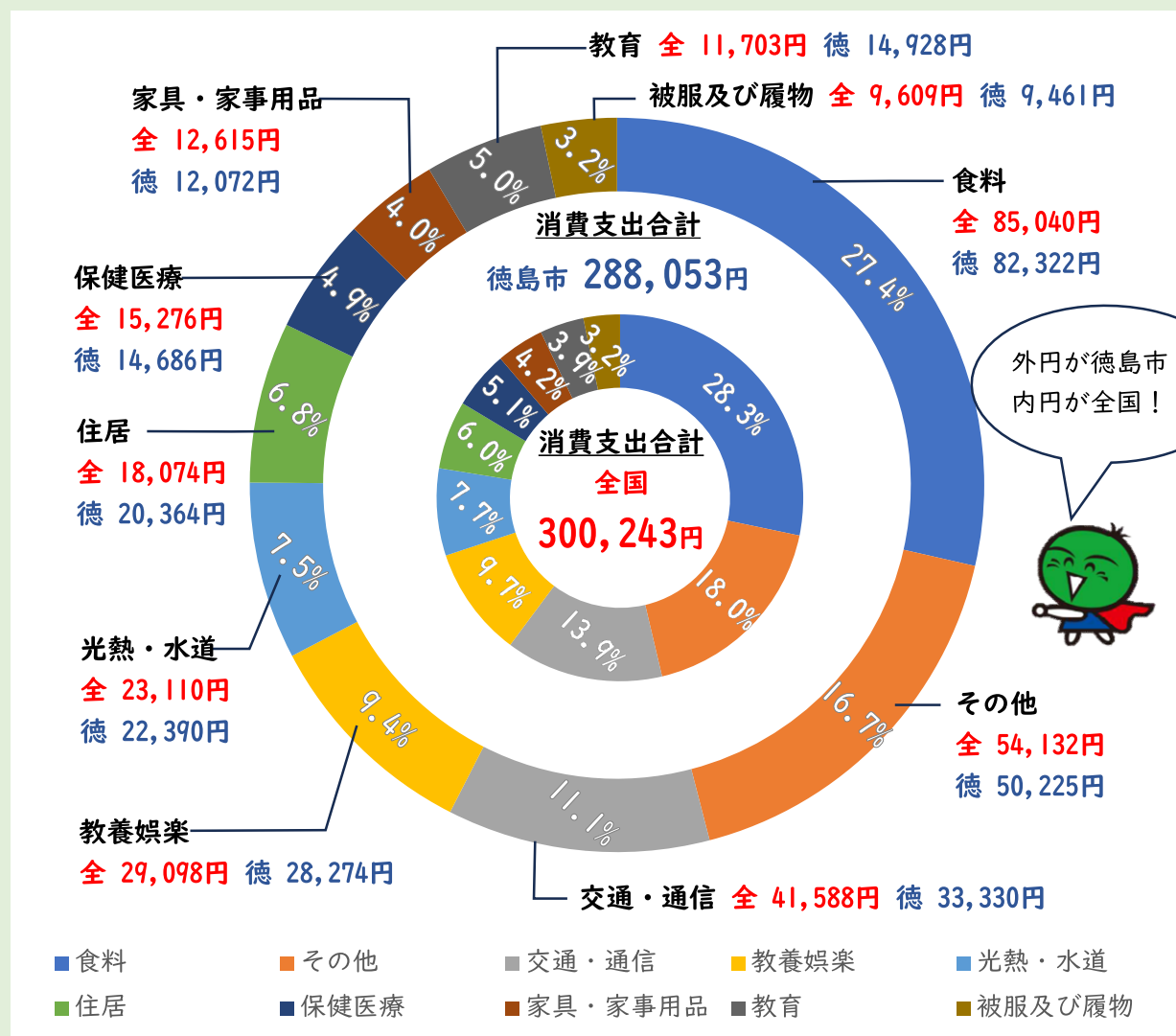
家庭のお金の流れが見える！

家計調査

○調査目的	全国の消費者世帯（2人以上の世帯、単身世帯）における家計収支の実態と地域的差異、貯蓄投資、負債の現在高、住宅・土地等の投資状況を調査し、その動向を明らかにして、各種政策の基礎資料を得る。
○調査対象	世帯
○主要な調査内容	年間収入や貯蓄残高、家計収支など。
○何に使われているか	基礎年金額、生活保護基準などの検討のための基礎資料、消費税の税負担の状況を試算するための基礎資料など。

！ 1か月間の消費支出を徳島市と全国で比較！

！ 世帯当たりの1か月間の消費支出（二人以上の世帯、2024年（令和6年）平均）



資料：総務省「家計調査」

モノやサービスの価格の変化がまるわかり！

小売物価統計調査

○調査目的	国民の消費生活上重要な商品の小売価格、サービスの料金及び家賃を調査して、消費者物価指数(CPI)をはじめとするその他物価に関する基礎資料を提供する。
○調査対象	店舗、民営住宅居住世帯、公営住宅を有する事業所など。
○主要な調査内容	商品の小売価格やサービスの料金、民営家賃など。
○何に使われているか	消費者物価指数(CPI)作成のための基礎資料、国際比較のための各国通貨の購買力平価算定のためのデータなど。

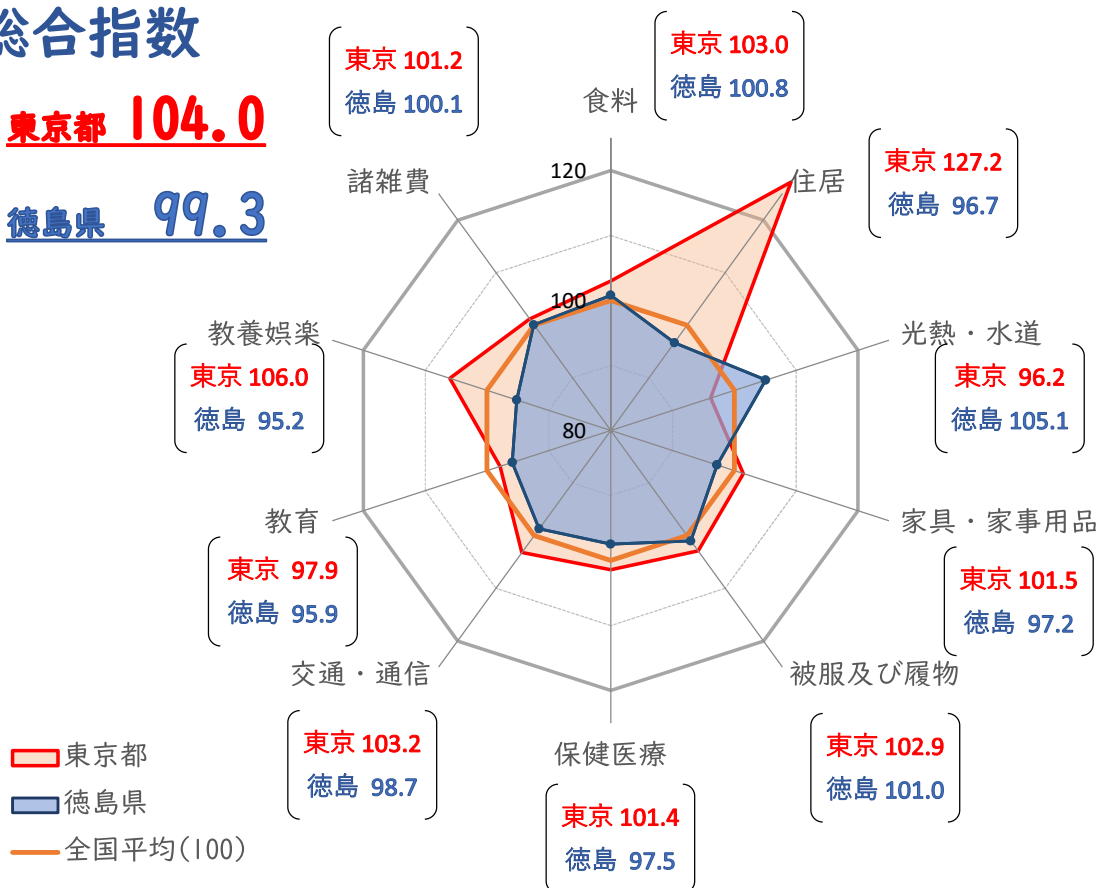
消費者物価地域差指数でみる徳島県

※消費者物価地域差指数とは、全国平均の物価を100とした場合の各地域の物価水準を数値化したもの。

総合指数

東京都 **104.0**

徳島県 **99.3**



全国平均と比べて、100より低い費目は物価が低く、100より高い費目は物価が高いよ！
東京都と徳島県を比べてみると、特に住居で大きな違いがあるね。



資料：総務省「小売物価統計調査」

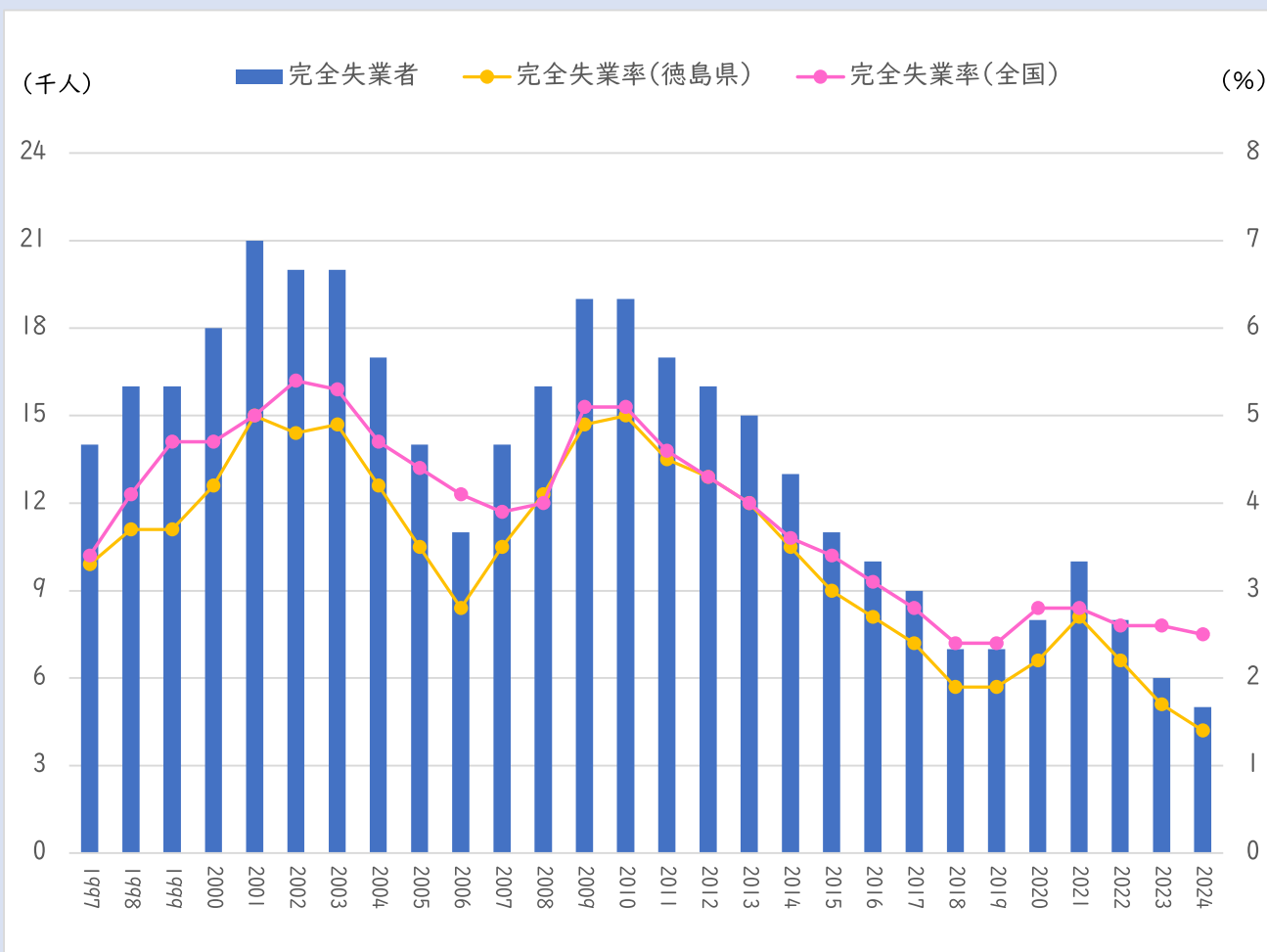
景気判断にも使われる大事な調査！

労働力調査

○調査目的	国民の就業及び不就業の状態を明らかにする。
○調査対象	世帯・世帯員
○主要な調査内容	月末1週間における就業・不就業の状態や雇用形態など。
○何に使われているか	政府の景気判断の指標、雇用政策のための基礎資料など。

全国と徳島県の完全失業率の推移

※完全失業率＝労働力人口(15歳以上の働いている人や仕事を探している人)に占める完全失業者の割合



完全失業者とは、15歳以上の「仕事がなく」、「今すぐ働けて」、「仕事を探している」人のことだよ！

徳島県の完全失業率は、全国平均を下回っていることが多いね。



資料：総務省「労働力調査（基本集計）都道府県別結果」

徳島の労働最前線をチェック！

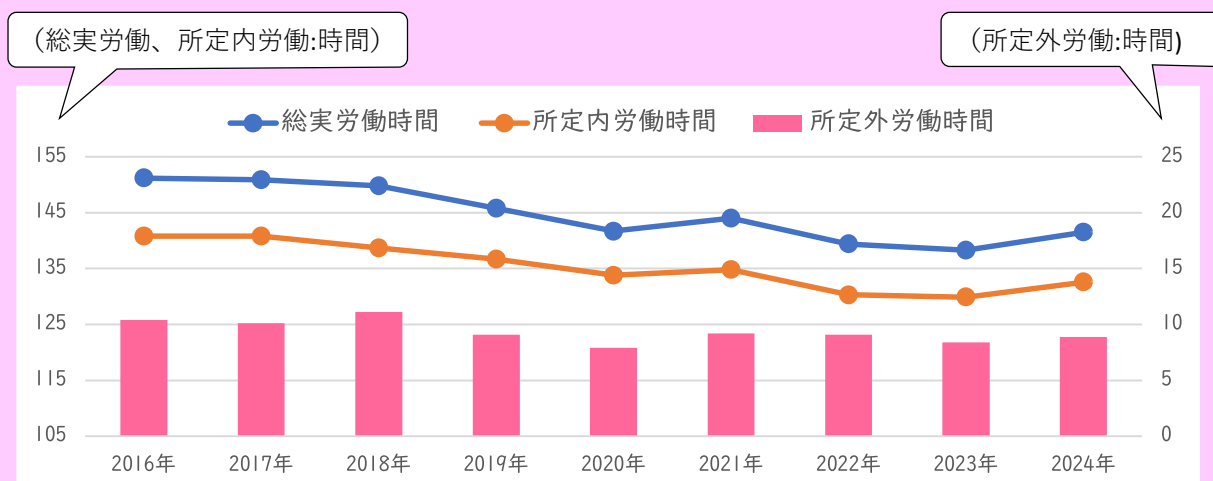
毎月勤労統計調査

○調査目的	事業所における常用労働者の雇用、給与及び労働時間について毎月の変化を明らかにする。
○調査対象	事業所
○主要な調査内容	常用労働者数や労働時間、現金給与額など。
○何に使われているか	雇用保険や労災保険の給付額を改定する際の資料など。

※常用労働者とは「期間を定めずに雇われている人」や「1カ月以上の期間を定めて雇われている人」のことで、パートタイムの人も含まれます。

徳島県の常用労働者の1人平均月間労働時間

(調査産業計、事業所規模-常用労働者5人以上)



	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
総実労働時間	151.2	150.9	149.8	145.8	141.7	144.0	139.4	138.3	141.5
所定内労働時間	140.8	140.8	138.7	136.7	133.8	134.8	130.3	129.9	132.6
所定外労働時間	10.4	10.1	11.1	9.1	7.9	9.2	9.1	8.4	8.9

2024年平均月間所定外労働時間が多い県と少ない県

(調査産業計、事業所規模-常用労働者5人以上)

※所定外労働時間とは、勤務時間の範囲外の労働時間のことで、いわゆる残業や休日出勤等の時間。

最も少ない
奈良県
6.6時間

徳島県は8.9時間！
全国で15番目に少ないよ。



最も多い
東京都
11.6時間

資料：厚生労働省「毎月勤労統計調査（地方調査）」